

## 一つ一つを積み重ねていく

### ☆農業クラブ全国大会打ち合わせ☆

農業クラブ全国大会は10月24、25日に県民須坂運動広場と須坂市文化会館で行われます。また、7月4日にはプレ大会が同じ場所で開催されます。その全国大会に向けて、現在、生徒実施委員会では長崎大会での平板測量競技会報告を行ったり、実施委員を選定したりしています。

そして、実施委員会や地区会などにて、大会ではどういった対応をすればよいのか、そつなく運営するためにはどのような活動をすればよいのかなど話し合っています。けれども、無事成功させるために一番大切なことは全校生徒が協力していくことです。だからこそ、全校の皆さんが全国大会に向けて、日々の生活を過ごしていけたらよいと思います。



(平板測量競技の報告様子)

### ☆農ク地区会☆

1月13日(金)に更級農業高校で農業クラブ連盟第2回地区会があり、本校からは農業部と平板測量競技会実施委員会の委員長および副委員長が出席しました。そこでは、昨年行われた全国大会長崎大会の視察報告、全体会、マナー講習会が行われました。

全体会では「全国大会長野大会をどのような大会にすべきか、また、全国大会を成功させるにはこれからどのような取り組みがクラブ員として必要なのか」を話し合いました。マナー講習会では、おもてなしの精神、具体的な振る舞い方などについて、実技指導も交えて講演して頂きました。始業式で校長先生がおっしゃっていたようにホスピタリティー(おもてなしの心)を大切にすること、自分がしてもらって嬉しいことを相手にもするなどの細かなところまで気配りをしていくことを学びました。

大会当日だけ生活態度や服装を正すのではなく、今から一人一人が意識して行動していきましょう。



(マナー講習会の様子)



(全体会での様子)

### ☆一斉読書☆

1月19日(木)のLHRに、1、2年生は一斉読書を行いました。読書が好きな人以外はなかなか本を読む機会が少ないと思いますが、本を読むことによって話題が豊富になり、漢字が読めるようになります。また、語彙(ごい)が増え想像力が豊かになり、いろいろな角度から物事を考えられるような力がつくし、そして、物事を多面的に見ることができるようになるそうです。これから生きていく上で様々な場面で役に立つと思います。だから、この一斉読書が本を読むきっかけになれば良いと思います。

### 今後の予定 *One Month Schedule*

1月21日(土)	英語検定(1次)
23日(月)	学協総代会
27日(金)	漢字検定
30日(月)	3学年学年末考査
2月3日(金)	課題研究発表会
10日(金)	3年生自宅研修入り

### 園芸情報局 *Engei Information*

- ①先週の執行部だよりに、14日(土)に英語検定があると掲載しましたが、正しくは21日(土)です。申し訳ありませんでした。
- ②2月3日(金)によいよ3年生による課題研究発表会があります。とても大切な行事です。風邪などを引かないように体調をしっかり整え、臨みましょう。
- ③来週27日(金)に漢字検定があります。残り一週間ですが、受験する皆さんが合格できることを祈っています。頑張ってください。
- ④冬は日照時間が短く、暗くなるのが早いので用がない人は速やかに帰宅しましょう。

### 今日のポエム *Today's Poem*

自分を信じる、信じないは  
人それぞれだろう  
信じないのも1つの手だが  
自分を信じて生み出される  
力もたくさんある  
それが一生の宝になることだってある

### 今日の格言 *Today's Saying*

自分の思うままに生きる なぜなら人生を決められるのは自分自身だけだから

### ちょっとした豆知識 「読書」について

読書の意味は「書を読む事」とされるが、活字の登場以前ではこれらは主に裕福層やインテリ層にのみ許された行為でした。活版印刷技術の登場以降、書籍が大量生産されるようになって、大衆の識字率は格段に向上し、読書は大衆娯楽(趣味)としても広く受け容れられるようになっていきました。日本では、江戸時代までは、主に四書五経など漢籍の音読(おんどく)が行われていましたが、明治時代以降になると黙読(もくどく)が主となりました。当初黙読がそれほど広まっていなかった頃には、黙読する人は何を読んでいるのか分からないため気味悪がられ、また黙読が広まってもなかなか音読の習慣を止められない人もいたとされ、黙読している間も声を出さずに音読しているのと同じように読む人もいました。

江戸時代には四書五経のような教養書の他に戯作本が登場して出版業が成立し、生活に余裕のある都市住民を中心に娯楽としての読書が広がりました。当時、日本語の崩した文字に対応するために、木版印刷が広く用いられ、20世紀になると大衆の教育の広がりにより、以前より書を読む人が増えてきました。また、出版技術の向上により大量出版の時代となり、日本においては、大正時代から昭和前期における円本の流行が、廉価な本を大量に発行するという出版形態の発端とされていました。しかし、20世紀後半になってテレビやインターネットなど他メディアの爆発的な発達により、知識情報の獲得手段としての読書の地位が相対的に低下し、若者が本を読まなくなったと嘆く人の間で“活字離れ”、“読書離れ”が語られています。読書は将来のためにも、社会に出て役立つことがたくさんあります。みなさんもいろいろな本を読み、多くの知識を身につけるのもいいと思います。

次号の予告：①拡大執行部役員紹介 ②園芸太鼓の練習様子 他

### 晴耕雨読 ～園芸版 Column～

14日、15日にセンター試験が実施されました。受験された3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。これで、また1つ大きな節目が終わりを迎えました。卒業も少しずつ近づいてきています。残りの学校生活を楽しく過ごしてください。

今週末には英語検定があり、来週には漢字検定があります。資格を取得することで、就職、進学に有利になると思います。来年度には多くの資格に挑戦していきましょう。

3学期は登校日数が少ないので、未提出の課題などがあったら早めに終わらせ、新学期を迎える準備をしていきましょう。

\*文責：新執行部書記(2-3丸山千夏、2-3羽田理紗、2-4岡宮尚輝)、後記(岡宮)\*